

企画

8月6日那賀川の日 那賀川探検バスツアー

H27. 8. 6 流域内小学生

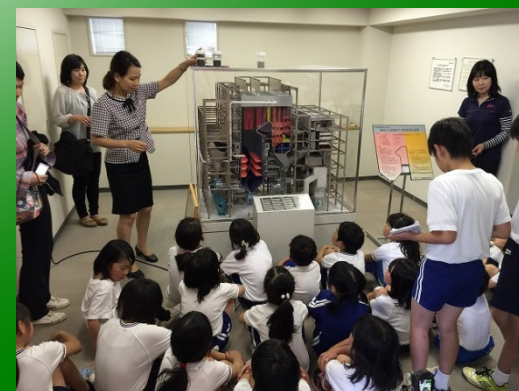
ダム見学、鹿肉スモーク作り、川遊び、生き物調査、水質調査



上流の子どもたちによる 下流域見学体験ツアー

H27. 5. 15 桜谷小学校・平谷小学校

NAKAなかキッズ交流事業（製紙工場、火力発電所）



平成27年度の取り組み実績

【発信】

発信

出前講座

27. 5. 26 大野小学校①
27. 10. 6 大野小学校②



H27. 9. 13 那賀高校
H27. 11. 10 南あわじ市



H28. 2. 4 富岡東中学校

那賀川写真展

H27. 11. 17~H. 27. 11. 24
徳島阿波おどり空港



風土探訪マップ

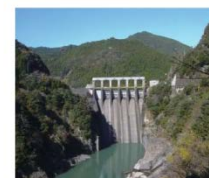
第4号・第5号 発行に向けての編集作業

第4章 長安口ダムと高磯山の崩壊

◇長安口ダム

IV図B5

本体・貯水池ともに徳島県最大



▲長安口ダム

那賀川の長安地先に洪水調節、発電、灌漑用水の補給を目的として昭和31年1月に建設された那賀川総合開発の一環をなす重力式コンクリートダムです。

【那賀川コラム】

戻ってきたお栗師さん

IV図C2

高磯山崩壊にまつわる洪水伝説

高磯山が大昔際とともに山崩れを起こし、荒谷、春森の65人の命を奪いました。15戸の人家を埋めた土砂は、対岸の春森の方までせり上がり、横き止められた那賀川の水位はどんどん上がり、上流の平谷、大観から西ノ内まで水の被害をうけ、150戸余りの家が流失しました。平谷の栗師屋は水に浮き、逆流してくる水に上流の平谷の八幡社あたりまで流されていましたが、高磯山の堰がくずれ水が引き始めると、栗師屋は引くに合わせて流れ、元の位置におさまると伝えられています。

2

◇高磯山崩壊記念碑・慰霊之碑

IV図B3、IV図C4

天然ダムを形成した明治25年の大崩壊

つづら時は、高磯山の崩壊によって作られた土砂ダムの水位が、この峠にまで達し、被災者の救助の拠点となり救助の舟が行き来した場所です。高磯山崩壊記念碑が建っています。この碑の台石が水位を示しています。また、対岸には高磯山崩壊から100周年を記念した高磯山崩壊慰霊之碑が建っています。



那賀川の風土を巡り訪ねる

第4号



ゆきかう那賀川推進会議

支援・連携

流域内の交流や地域おこしに取り組んでいる
団体や人々の活動を支援

H27. 5. 10
那賀川源流碑開き



H27. 11. 1
那賀川源流コンサート
高の瀬峡レストハウス平の森



H27. 8. 28
那賀川流域センチュリーラン

